

令和5年度 第1回 佐伯市行財政改革推進委員会（抄録）

開催日時 令和5年8月1日（火）午後2時から午後3時50分まで

開催場所 佐伯市役所本庁舎 6階大会議室

出席者

委員：安部秀昭（会長）、岩佐礼子（副会長）、大島美津子、川田菜穂子、河野照代、神田芳、小石昭人、末吉哲也、利光充規、山田美之以上10名（12名中）

市職員：田中市長、武田副市長、山崎副市長、宗岡教育長  
植田総合政策部長、清家総務部長、行財政改革推進検討部会員  
行政マネジメント課職員（事務局）

\*各振興局長はTV会議システムを活用してリモートにて参加

1 開 会

2 市長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議 事

佐伯市行政経営推進プランの進捗状況について（令和4年度取組最終報告）

事務局が、進捗状況について説明した。

(1) 基本方針1 職員の意識改革と組織力の向上

○人事評価制度の活用

・人事評価は5段階評価だと思うが、管理職以外でS評価、A評価はそれぞれ何%か。

→S評価は0名、A評価は18名。

○職員の意識改革

・「コスト意識を持って」とあるが、民間は数字で利益が出るから検証ができるが、行政の場合どう検証するのか。

→検証は難しい。

令和2年度から枠配分方式による予算編成を導入しており、各部局において事業の優先度合いを見ながら、事業を実施している。

また、人事評価において時間管理意識という項目を設定し評価している。

○職員採用試験の多様化

・採用試験を秋期に一本化したことで、早期退職、採用予定者の辞退の対応を図ることができたとあるが、2回やるよりも一本化のほうがいい理由は。

→採用人数を抑制する中で、別日に試験を実施すると少数ずつの採用となり、早期退職、採用予定者の辞退の対応が難しい。

○本庁と振興局と出張所の業務のあり方と組織の再編の検討

- ・本庁と振興局のどちらがどの業務を持つかというよりも、本庁にグリップをきかせるべきではないか。

→なるべく本庁に集約しているが、振興局でないと迅速に対応できない部分については、振興局が対応している状況。

○女性職員の活躍の推進

- ・17.3%というのには執行部の感覚として、女性がきちんと活躍できると実感があるのか。

→男性女性関係なく、すぐれた人材であれば、どんどん登用していくべきだと思うし、これから女性の活躍も非常に期待している。

○仕事と家庭の両立支援

- ・「早出遅出勤務について職員アンケートを実施するなど、職員の意見を聞き、働きやすい環境整備を行う」とあるが、具体的にどのようなアンケートを実施し、反映していくのか。

→まだ職員アンケートは実施していない。可能な限り早く実施する方向で検討する。

(2) 基本方針2 持続可能な財政運営の確立

○ふるさと納税の推進

- ・委託事業者との意見交換、知識の共有、戦略等話し合いをする機会を設けているのか。

→これまでは大手企業だったため、地域密接、親切丁寧なサービス、取り組みが厳しいところがあったが、今年度から地元の企業となったので、ほぼ毎日のように意見交換している。

○使用料・手数料の見直し

- ・オンラインで手続した場合の使用料を安くすることはできないか。安くすることで、市民の利便性、行政の業務の効率化、人件費の削減も図られる。

→マイナンバーカードを利用するコンビニ交付についてで、手数料を半額にして普及促進している。市民の利便性、メリットを実感できるサービスの提供を検討しながら対応していきたい。

○ケーブルテレビ事業の見直し

- ・ケーブルテレビの事業自体が厳しいと感じている。光化による更新事業のメリットは。

→これまで直営だったエリアを、一部民営化することにより事業の効率化が図れる。

#### ○水道事業の経営の健全化

- ・窓口検針業務の委託について、どの程度費用負担が増加し損益に影響するのか。
- 検針業務、窓口業務、料金徴収、すべて委託するのか、一部の業務を委託するのか検討中。

### (3) 基本方針4 行政の質と生産性向上について

#### ○窓口業務の質の向上

- ・「書かない窓口を目指し」とあるが、窓口には様々な人がやってくる。そういった方があちこち行かないように、ワンストップできるようにするための業務委託なのか、どういう業務委託を考えているのか。
- 現在、費用面等を各部局で検討をした上で、窓口業務を包括的に出した方が安くなるというところを検討している。
- 窓口業務は各部局にあるため、部局によって違うが、ワンストップ窓口については、福祉保健部をメインに、現在検討している。

#### ○ICTを活用した電子手続き等の拡充について

- ・行政手続きの電子化について計画（工程表）を策定して強力に推進してほしい。市民の利便性の向上、行政の事務の効率化につながる。
- また、チャットGPTについて、注意すべき点もあるが十分使えるので、基本方針を作成して活用してほしい。
- 今年度からDX推進係を立ち上げた。DXを推進し業務の効率化を図る。
- チャットGPTについて、基本方針は作成していないが試験的に導入している。

#### ○公立保育所及びこども園の業務効率化や民間活用の検討

- ・現状課題で待機児童ゼロの達成と掲げているが、現状待機児童は何名か。
- 令和5年4月1日現在ではゼロ。その後、就労等により申し込みがあり、現在5名が待機児童となっている。

#### ○新たな地域コミュニティ組織のあり方について

- ・協議会を設立した地域同士が集まって、経験や知恵をシェア、苦労話や課題を話し合うなど、地域間の結びつきを強くするような取り組みをやってほしい。
- 委員提案の取組を行っていく予定。

#### ○クラウドファンディング活用型まちづくりファンドの構築

- ・別事業での相談受理となっているが、この制度自体が利用しにくいのか、課題があるのか。
- 利用しにくい部分もある。期間の問題、返礼品に魅力がないとクラウドファンディングの応募がないといったところも危惧されるなど制度を使いにくい部分もある。事業を経験した方の助言をいただき、できるだけサポートしていく体制を

構築していく。

○災害時に生きるネットワークづくり

- ・多数協定を結んでいるが、災害が発生したときに即座に対応できるような体制が整っているのか。

→協定の種類、種別については様々なものがある。より実践的に活用できる取り組みを進めていく。

5 今後のスケジュール 次回は11月13日開催予定

6 閉会 田中市長による閉会あいさつ